

越後 守門大岳～コウクルミ沢滑降

手嶋

【日時】 2010年4月10日(土)～11日(日)

【メンバー】L鈴木、手嶋、佐藤

本来は北ア北部の初雪山へ行く予定だった。しかしメインになる日曜日の予報が悪く、集合してから上記のルートへと変更になった。昨年コウクルミ沢左岸尾根を登ってコウクルミ沢を滑るつもりが、結局ホワイトアウトのために往復となってしまったので、私としては念願のルートである。せっかく1泊の日程があるので、下で泊まって宴会もしようという魂胆だ。

朝から暖かく快晴。二分の奥の車止めから雪に埋もれた車道を歩き始める。途中保久礼へ行く左のトレースに間違えて入って少し時間ロスしたものの、戻って問題なく左岸尾根の取り付きへ。ここに泊まることにして、荷物をデポして尾根に取り付く。

最初の250mは急登。荷物の重さは半減したものの、結構きつい。ここを何とか終えて一休みすると、後は緩い登行が続く。途中少し痩せた部分を越えて再び50mくらいの急登を登りしばらく行くと、木が薄くなって展望が俄然開ける。大岳頂上はすぐそこに見えるのに、あと350mくらいの登りだ。まあうまくすれば1ピッチか。



それにしても今日は無風快晴で申し分ない天気。一方で暑くてしかたない。大汗をかきあえぎながら登る。どうも肩凝りがひどくてそこからくるのかだんだん気分も悪くなってきて調子是最悪であった。まあ歳を取ると膝だ肩だと本当に厄介だ。

広い尾根大斜面を登り、最後緩い傾斜になるとようやく頂上に到着。ただただ広く何も無い頂上は、昨年6月の会山行時の様子からは想像もできない。最高の天気の中、南に越後三山、北から東にかけての下田川内、そして飯豊の大展望を楽しむ。

滑降は予定どおりコウクルミ沢に飛び込む。最初は素晴らしいザラメの大斜面を大回りターンで飛ばす。やがて斜度が30度からそれを越えるくらいになると、同時に午後

の雪が重くなり、少し滑りにくくなってきた。

ルートの的には大滝の上で左岸尾根に上らないとならず、余裕を見てわりと上の方でトラバースして広い尾根に戻った。自分は先ほど来の体調が良くなり、少しターンすると止まってストックに寄りかかって息をつぐ状況、登りよりもつらい滑降となった。

広くていい尾根を滑り、最後少し木が密な急斜面を終えると、BCに到着して終了となった。天候やルートは申し分なかった。テントを立て、すぐに宴会に突入したのは言うまでもない。宴会に入ると体調も不思議とすぐ良くなった。自分でも複雑なこの体の仕組みはよくわからない。



翌日は夜半からパラパラ来ていたのが朝方は結構な降りとなり、その中を下山して早々と温泉、そして「ごはんや」で昼食を取り帰途についた。

コウクルミ沢は確かに素晴らしいが、パウダーの時のほうが良さが際立つのではないかと思った。ザラメの時期は左岸尾根でも十分に楽しめる。是非また来年のパウダーの時期に行ってみたいものである。

【行程】 4/10 二分奥車止め(8:45)～(途中ルートミスで15分ロス)～左岸尾根取り付き
BC(10:20/45)～大岳(13:55/14:15)～BC(15:20)

4/11 BC(8:25)～車止め(9:00)

【地図】 穴沢、守門岳

